参加者へのお知らせ

◆学会開催形式

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて第 49 回日本肩関節学会および第 19 回日本肩の運動機能研究会は感染対策を徹底した上で、会場参加とオンデマンド配信を併用するハイブリッド開催とすることといたしました。
（会場の収容人数はゆとりをもって用意しております。）

◆会場受付

1. 事前受付期間（HP 上でのオンライン登録）：8 月 15 日（月）～10 月 3 日（月）正午
   ＊当日会場でも参加受付はお申込みいただけますが、受付での密な接触をさけるためできるだけ事前登録にご協力ください。

   当日受付期間（受付にてネームカードをお渡しします。）：10 月 7 日（金）7：00～17：30
   10 月 8 日（土）6：30～15：30
   ＊早朝の参加者は、当日登録ではなく事前登録での参加登録を済ませるようにお願いいたします。

2. 受付場所：パシフィコ横浜ノース　1F　フォワイエ

3. 参加費

区分	事前登録	当日登録	備　考
正会員	18,000円	20,000円	
準会員	12,000円	13,000円	
非会員	20,000円	23,000円	
研修医	5,000円		オンライン参加登録時に所属長の証明書をご提出ください。（所属長の証明書フォームは学術集会HP からダウンロードできます。）
学生	2,000円		学生証をご提示ください。

※第49回日本肩関節学会、第19回日本肩の運動機能研究会の両学会にご参加いただけます。
※参加者は必ずマスクを着用してください。

4. 申込方法、参加証明書・領収書の発行
   ①事前参加登録：オンラインでクレジットカード決済になります。現地ご来場の際は、ネームカードの発券のため、参加登録フォームのメインメニューから QR コードをダウンロードして印刷の上お持ちいただくか、もしくは、お手持ちのスマートフォンやタブレットの画面に表示可能な状態でお越しください。
   領収書・参加証明書はオンライン参加登録マイページよりダウンロードください。
   （ダウンロード期間：10 月 7 日（金）～11 月 30 日（水））

   ②当日参加登録：参加受付にお申込みください。学生および研修医の方は各種証明書を忘れずにお持ちください。領収書/参加証明書兼用のネームカードをお受け取りの上、所属・氏名をご記入になり、会場では必ずご着用ください。また参加証明書は再発行しませんので、ご了承ください。

◆聴講方法一覧

セッション	10月7日(金)・8日(土)		10月25日(火)～11月15日(火)	聴講費
	会場聴講	ライブ配信	オンデマンド配信	
招待講演・ 国際シンポジウム・ パネルディスカッション・ 会長講演・ 信原克哉メモリアル・ KSES Lecture シンポジウム・ Combined Session	○	× ライブ配信なし	○	学会参加費のみ (日整会単位は別途1,000円)
特別講演	○		なし	学会参加費のみ (日整会単位は別途1,000円)
主題	○		○	学会参加費のみ
一般口演	○		なし	学会参加費のみ
ショートトーク	○		なし	学会参加費のみ
教育研修講演	○		なし	学会参加費のみ (日整会単位は別途1,000円)
共催セミナー	○		○ ※セミナーにより異なる	学会参加費のみ (日整会単位は別途1,000円)
ハンズオンセミナー、 ワークショップ	○		なし	詳細は各社へ お問い合わせください

◆抄録集

会員の方は事前にお送りする抄録集を必ずご持参ください。再配布はいたしません。

当日は 1 冊 3,000 円で販売いたします。

◆呼び出し

原則、呼び出しは行いません。

◆撮影・録画・録音について

カメラ・ビデオ・携帯端末等を用いた撮影および録画・録音や SNS 等のインターネット上への投稿はできませんのでご了承ください。

◆クローク

日時：10 月 7 日（金）7：00～19：00

　　10 月 8 日（土）6：30～17：00

場所：パシフィコ横浜ノース　2F　G214

◆食事

ランチョンセミナー・横浜セミナーでは、昼食をご用意いたします。

ただし、数には限りがありますので、ご了承ください。整理券の発行は行いません。

日本整形外科学会教育研修単位を申込された方を優先いたします。

◆全員懇親会

日時：10 月 7 日（金）19：10〜20：30

会場：パシフィコ横浜ノース　1F　G5＋G6

参加費：無料（必ず参加証をご着用ください。）

ブッフェ形式での食事提供は行いませんが、特製中華弁当の配布を行いますのでお楽しみください。
ただし、数に制限がありますのであらかじめご了承のほどお願いいたします。

◆日本整形外科学会教育研修単位・日本肩関節学会研修講演（現地受講のみ）

※オンデマンド受講はございません。

1. 受 講 料：1 単位 1,000 円
   単位受講証明書が必要でない方は、無料で聴講できますが、受講者の入場が優先されます。また教育研修講演受講のためだけに入場される方も、学会参加費が必要です。
2. 取得上限：1 日目 5 単位、2 日目：6 単位
3. 受　　付：巻頭あるいは会場受付の日整会教育研修講演受講申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて単位受付にお申込ください。受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。
   また受講取り消し・変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。
4. 受講方法：【専門医の方】セッション開始 10 分前から開始後 10 分後までに、日本整形外科学会の IC 会員カードを講演会場入口のカードリーダーにかざして受講登録を行ってください。開始後 10 分を過ぎて手続きが完了していない場合には単位取得はできません。
   【研修医の方】研修手帳をお持ちの方も、日本整形外科学会の IC 会員カードで受講登録を行うため、日本整形外科学会ホームページの会員専用画面の単位取得履歴に記録が残ります。このため、研修医手帳に受講証明印を受ける必要はありません。研修医手帳には、該当する分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP 参照」と記入してください。更新時には、日本整形外科学会ホームページ上の取得履歴と照合します。当日の受講登録方法については、専門医と同様に会員 IC カードで手続きを行ってください。

◆医療機器展示

日時：10 月 7 日（金）8：00〜19：00
　　10 月 8 日（土）8：00〜16：00

会場：パシフィコ横浜ノース　1F　G3+G4

◆書籍展示

日時：10 月 7 日（金）8：00〜19：00
　　10 月 8 日（土）8：00〜16：00

会場：パシフィコ横浜ノース　3F　フォワイエ

◆ドリンクコーナー

日時：10 月 7 日（金）8：00〜19：00
　　10 月 8 日（土）8：00〜16：00

会場：パシフィコ横浜ノース　1F　G3+G4

※数に限りがございますのでご了承ください。

◆学会現地開催に際しての感染防止対策

1. 施設入口での検温（37.5℃以上の方は入場をご遠慮ください。）
2. 「健康状態申告書」による来場者管理
3. 参加者のマスクの常時着用
4. オンライン参加登録や自動発券機による対面受付でのやり取りの減少
5. 消毒用エタノールの設置
6. 演台上の機材の消毒、手袋の使用
7. マイクの定期的な消毒
8. 講演会場における入退場の動線分離
9. 会場の換気の徹底

ご本人あるいは同居のご家族が以下の条件を１つでも満たす場合には、現地学会へのご参加をご遠慮いただけますようお願いいたします。

ア）発熱、咳、たん、咽頭痛、呼吸苦、筋肉痛、倦怠感、嘔気、下痢、嗅覚障害、味覚障害

イ）海外からの入国歴（14 日以内）

ウ）新型コロナウイルス感染症患者との接触歴（14 日以内）

エ）海外からの入国後 14 日を経過していない者との濃厚接触歴（14 日以内）

第 49 回日本肩関節学会　日本整形外科学会教育研修講演一覧

日付	時間	会場	形式	演題名	講師名	認定番号	認定内容	単位数
10月7日(金)	9:05～10:05	第1会場	招待講演1	Treatment of Glenohumeral Arthritis in Young Patients From Stem Cells to Stemless Implants	Wayne Zealous Burkhead Jr.	22-0935-001	[1][9]	1
10月7日(金)	10:05～11:05	第4会場	招待講演2	Surgical Treatment for Irreparable Rotator Cuff Tear	Yong Girl Rhee	22-0935-002	[9][13]	1
10月7日(金)	12:25～13:25	第1会場	ランチョンセミナー1	リバース型人工肩関節置換術におけるPSIガイド使用のコツ	間中　智哉	22-0935-003	[6][9]	1
				三次元術前計画ソフトウェアの有用性とピットフォール	植木　博子			
		第2会場	ランチョンセミナー2	修復デザインを考慮した鏡視下腱板修復術	落合　信靖	22-0935-004	[9]	1
		第3会場	ランチョンセミナー3	世代によって変わるオーバーヘッドスポーツの肩関節障害	西中　直也	22-0935-005	[2][9]S	1
		第4会場	ランチョンセミナー4	肩関節鏡視下手術におけるTensionable Knotlessアンカーの応用	田中　誠人	22-0935-006	[2][9]S	1
		第5会場	横浜セミナー	肩変性疾患治療戦略におけるSMR®リバースシステムの特徴と有効性	一ノ瀬　剛	22-0993-000	[9][13]	1
				上腕骨近位端骨折に対するSMR® Hemi-arthroplastyとReverse-arthroplasty の治療成績を向上させるためには	内山　善康			
10月7日(金)	14:45～15:45	第1会場	招待講演3	Reverse Shoulder Arthroplasty	Alessandro Castagna	22-0935-007	[6][9]R	1
10月7日(金)	19:30～20:30	懇親会会場	特別講演	東京2020で掴んだ夢	川井友香子	22-0935-008	[14-5]S	1
10月8日(土)	7:00～8:00	第2会場	教育研修講演1	腱板断裂(cuff tear arthropathyを含む)の診断と治療	大泉 尚美	22-0935-009	[9]	1
				肩関節周囲炎(五十肩、石灰性腱炎)の診断と治療	内山 善康			
10月8日(土)	8:00～9:00	第2会場	教育研修講演2	肩の機能解剖、バイオメカニクス	船越 忠直	22-0935-010	[9]	1
				肩関節不安定症の診断と治療	山本 宣幸			
10月8日(土)	9:05～10:05	第1会場	招待講演4	Biomechanics of Acromioclavicular Joint Injuries and Repair	Richard E Debski	22-0935-011	[1][9]	1
10月8日(土)	11:15～12:15	第4会場	KSES Lecture	My Treatment Strategy For Complex Rotator Cuff Tear	Yang Soo Kim	22-0935-012	[2][9]S	1
				Effects of Glenoid and Humeral Bone Defects on Recurrent Anterior Instability of the Shoulder	Sang-Jin Shin			
10月8日(土)	12:30～13:30	第1会場	ランチョンセミナー5	A Bioinductive Collagen Implant to Improve Healing in Rotator Cuff Repair	Michael J O'Brien	22-0935-014	[1][9]	1
		第2会場	ランチョンセミナー6	肩関節機能の解明と肩関節周囲炎に対する治療戦略	松村　　昇	22-0935-015	[9][13]	1
		第3会場	ランチョンセミナー7	人工肩関節のデジタルトランスフォーメーション～関節窩の裏は見えていますか?～	山門浩太郎	22-0935-013	[6][9]R	1
				Baseplateの設置をどう考えるか	桐村　憲吾			
		第4会場	ランチョンセミナー8	医療コストの視点からみた肩腱板断裂治療の現状と将来展望	菅谷　啓之	22-0935-016	[9]	1
		第5会場	ランチョンセミナー9	肩関節疾患にひそむ神経障害性疼痛	山本　宣幸	22-0935-017	[8][9]	1
10月8日(土)	13:35～14:35	第1会場	招待講演5	Biologic augmentation of arthroscopic rotator cuff repair	Knut Beitzel	22-0935-018	[9]	1

日整会認定教育研修 受講取得単位（認定単位種別）

N：日整会専門医単位　S：スポーツ単位　R：リウマチ医単位
SS：脊椎脊髄病医単位　Re：運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野（専門医必須14分野）

1　整形外科基礎科学
2　外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
3　小児整形外科疾患
　（先天異常，骨系統疾患を含む，ただし外傷を除く）
4　代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
5　骨・軟部腫瘍
6　リウマチ性疾患，感染症
7　脊椎・脊髄疾患
8　神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
9　肩甲帯・肩・肘関節疾患
10　手関節・手疾患（外傷を含む）
11　骨盤・股関節疾患
12　膝・足関節・足疾患
13　リハビリテーション（理学療法，義肢装具を含む）
14-1　医療安全
14-2　感染対策
14-3　医療倫理
14-4　指導医講習会，保健医療講習会，臨床研究／臨床試験講習会，医療事故検討会，医療法制講習会，医療経済（医療保健など）に関する講習会など
14-5　医学全般にわたる講演会など，従来の分野14のうち14-1～14-4に当てはまらないもの

14-1～4は機構認定専門医共通講習，14-1～3は機構認定専門医必修講習
（5年間で14分野を各1回以上受講しなければならない）